

DSO参画機関が関係するイベント

物質・材料研究機構

材料研究の最新成果発表週間『NIMS WEEK2021』～材料、変わる～

【日時】2021年11月17日（水）～18日（木）2日間開催

【場所】物質・材料研究機構 並木地区オーデトリウム／Zoom

物質・材料研究機構（NIMS）では、並木地区オーデトリウムにおいて「NIMS WEEK2021」を、オンサイトおよびライブ配信のハイブリッド形式にて開催いたしました。

「NIMS WEEK」とは、NIMSが年に一度、学術シンポジウム・最新成果展示会等を一週間で集中的に開催する成果発表イベントです。今年は11月17日（水）に「量子材料」をテーマとしたNIMS Award授賞式／受賞記念講演および学術シンポジウムを、同月18日（木）にNIMS内の最新成果を発表する「最新成果展示会」を開催し、2日間の合計参加者数（のべ）は2,436名となりました。

1日目は量子材料分野で先駆的な研究業績を上げている著名研究者らによる講演計10件で最新研究トレンドを紹介、2日目は第一線で活躍するNIMS研究者らによる、革新的材料・技術を口頭講演12件・ポスター発表50件で一挙公開しました。

物質・材料研究機構は、材料科学の基礎研究を推進するとともに、研究結果を社会に還元するというミッションを有しています。このイベント契機に、多くの方々から材料科学の最先端に触れていただき、また社会実装化に向けた議論にもつながることができ盛況のうちに閉幕しました。



NIMS Award受賞者と招待講演者、機構役員との記念撮影

左から、宝野理事、橋本理事長、水田博氏、安藤恒也氏、村上修一氏、花方理事、谷理事。

後方のスクリーン、Allan H. MacDonald氏、Pablo Jarillo-Herrero氏。



Allan H. MacDonald氏によるNIMS Award受賞記念講演
(ライブ中継・オンライン配信)

DSO参画機関が関係するイベント開催報告

産業技術総合研究所

産業技術総合研究所：女子大学院生・ポスドクのための産総研所内紹介と在職女性研究者との懇談会

【日時】2021年11月26日（金）、12月7日（火）、12月14日（火）
13：30～16：30

【場所】オンライン開催

【主催】産業技術総合研究所 イノベーション人材部 ダイバーシティ推進室

産業技術総合研究所（産総研）では、女子大学院生・ポスドクの皆さんに、研究職について具体的なイメージを持ってもらうためのオンラインイベントを開催しました。今年度で6年目の開催となり、全国21の大学・研究機関から、のべ36名（うち留学生7名）の方にご参加いただきました。

今回は7つの研究領域を3日間に分けて開催し、1日目はエレクトロニクス・製造領域、地質調査総合センター、計量標準総合センター、2日目はエネルギー・環境領域、材料・化学領域、3日目は生命工学領域、情報・人間工学領域の紹介を行いました。

産総研 加藤一実理事の開会の挨拶から始まり、続いて参加者と在職女性研究者との懇談会を行いました。ブレイクアウトルームに分かれ、女性研究者から研究紹介、キャリア選択、ワーク・ライフ・バランスなどについて語っていただいた後、参加者からの質問や悩み相談などに寄り添い、共有し合う時間をじっくり設けました。

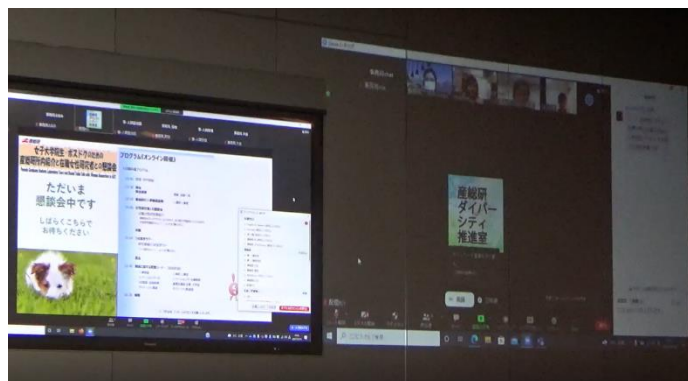
ラボ見学ツアーでは、ダイバーシティ推進室が各領域の研究者と協力して制作した、研究室バーチャル見学と研究内容紹介の動画を配信した後、参加者と出演研究者との質疑応答をリアルタイムで行いました。参加者からは、研究テーマの選び方や、企業との共同研究の状況、研究開発から製品化に至るきっかけなどの質問が出るなど興味を持っていただき、出演研究者からは産総研で研究することの醍醐味などについて温かいメッセージを送りました。



→次ページへ続く

→前ページより

このほか制度に関する質問コーナーを設け、各種制度（人事、イノベーションスクール、リサーチアシスタント制度・技術研修、ダイバーシティ推進等）について、各部署の担当者が参加者とのフリートークに応じ、プログラムを終了しました。



参加者アンケートでは、「女性が少ない環境なので、このようなイベントで公的機関で活躍している女性研究者のお話を聞くことができるとても理解が深まりました。」「このイベントは、特にキャリアをスタートさせる方法を心配している大学院生にとって非常に役立つと思います。将来的には、研修やインターンシップなどのプログラムが増えることを願っています。」などのコメントが寄せられました。今後も、受け手に寄り添ったイベントを開催できるよう、産総研の多様な人材や研究領域の総合力を活かして取り組んでいきたいと考えています。

【関連情報】

https://unit.aist.go.jp/innhr/diversity2020/ja/events/211126_event.html

事務局より

令和3年度第2回DSO懇話会について

今年度の第2回は、下記日程での開催を予定しています。

【日時】2月18日（金） 13:30-15:30

【開催方法】オンライン（Webexを使用予定）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、WEB会議で実施予定です。

当日は有意義な意見交換会になるよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。

「DSO News Letter」の記事募集中

「DSO News Letter」の記事を募集いたします！

宛先はこちら kyodosankaku@nims.go.jp（DSO事務局）です。



NIMSくん

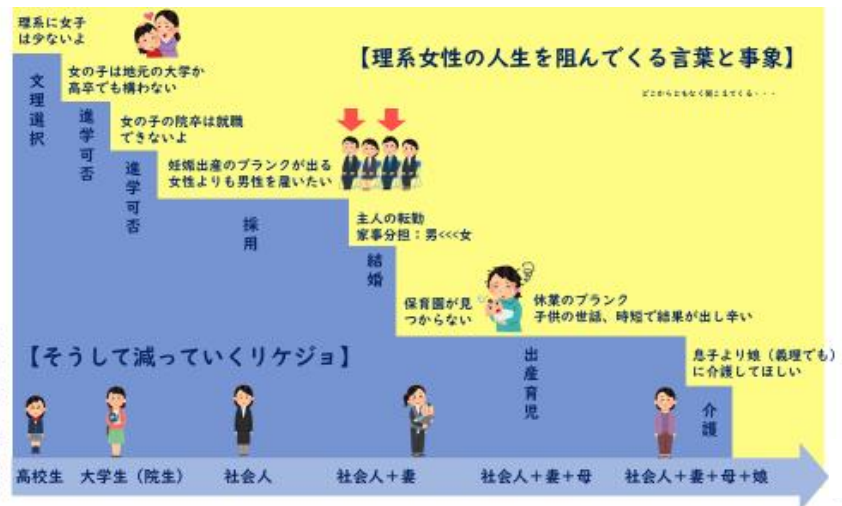
書籍紹介

『やってみよう！ NIMSの材料実験』

吾輩はリケジョである。けれど研究者ではない。

「どうして理系に、どうして工学系に進んだの？」と聞かれたら、「科目別の成績と偏差値と試験結果です」と、私は答える。私には中高の進路指導で将来何をしたいか等、聞かれた記憶がない。模試の結果を机に並べて進路を決める。先生も両親も友人もこの決め方を当然としており、当時の私も全く疑わなかった。しかし、こうして生まれた将来の目標が無いリケジョは、博士に至る前にリケジョの道から逃げ出してしまった。

偏見も含むが、リケジョとして生き残るのは難しい。「理系に女子は少ないから」と文系を選んでしまう女子生徒がいたり、理系では少なくない博士進学を経て正規職員で就職できるだろう時期といわゆる結婚・出産適齢期がかぶったり、リケジョとして生きようとする残念な言葉や厳しい現実を突きつけられたりする。しっかりとした目標、将来の夢がないと、障害を打ち破り、リケジョとして生き抜くことは難しい。



【将来の目標、夢を持って理系に進みたい女子と男子にオススメの一冊がこちら】

『やってみよう！ NIMSの材料実験』

国立研究開発法人 物質・材料研究機構 (2021.11, アグネ技術センター)

ミニ四駆で遊んだ子供時代、何とか早いモーターを作れないかと考えたことがあったはずなのに、いつしか電流と磁界の試験問題を解くことししなくなっていた、なんてことはないでしょうか。試験問題を解くのも楽しいけれど、純粋な疑問を実験で解決するのも楽しいし、人生をかけて突き詰めてみたいことが見つければ最高です。これから将来を考える学生さんにオススメしたい1冊です。

追記) カッパーアクセサリーのコラムは、大人の女性に響きます。ちょっと違う意味で。気になったら是非読んでください。

